|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ばい煙処理施設、揮発性有機化合物の処理施設（ばい煙等の処理等を行う施設）の工場又は事業場における施設番号 |  |  |
| 処理に係るばい煙発生施設（揮発性有機化合物排出施設）（届出施設）の工場又は事業場における施設番号 |  |  |
| ばい煙処理施設（揮発性有機化合物の処理施設）（ばい煙等の処理等を行う施設）の種類、名称及び型式 |  |  |
| 設置年月日 | 年　　　　月　　　日 | 年　　　　月　　　日 |
| 着手予定年月日 | 年　　　　月　　　日 | 年　　　　月　　　日 |
| 使用開始予定年月日 | 年　　　　月　　　日 | 年　　　　月　　　日 |
| 　　　　　　　　処　　　　理　　　　能　　　　力 | 排出ガス量（Nm3/ｈ） | 最大 |  |  |
| 通常 |  |  |
| 排出ガス温度（℃） | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| ば　い　煙　等　の　濃　度 | ばいじん（g/Nm3）＊ | 処理前 | （O2＝　%） | （O2＝　%） | （O2＝　%） | （O2＝　%） |
| 処理後 | （O2＝　%） | （O2＝　%） | （O2＝　%） | （O2＝　%） |
| 処理効率 |  |  |
| いおう酸化物（容量比ppm） | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 処理効率 |  |  |
| 窒素酸化物（容量比ppm）＊ | 処理前 | （O2＝　%） | （O2＝　%） | （O2＝　%） | （O2＝　%） |
| 処理後 | （O2＝　%） | （O2＝　%） | （O2＝　%） | （O2＝　%） |
| 処理効率 |  |  |
| 揮発性有機化合物（容量比ppm（炭素換算）） | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 処理効率 |  |  |
| （mg/Nm3）（ppm） | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 処理効率 |  |  |
| （mg/Nm3）（ppm） | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 処理効率 |  |  |
| ばい煙量 | いおう酸化物（Nm3/ｈ） | 最大 | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 通常 | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 使用状況 | １日の使用時間及び月間使用日数等 | 時から　　　　時まで時間/回　　回/日　　日/月 | 時から　　　　時まで時間/回　　回/日　　日/月 |
| 季節変動 |  |  |
| 排出口の実高さHo（m）及び頂上口径D（m） | Ho　　　　　　　D | Ho　　　　　　　D |
| 排出口の番号 |  |  |
| 陣傘の有無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 補正された排出口の高さHe（m） |  |  |
| 排出速度（m/s） |  |  |
| 排出口の中心からその至近距離にある敷地境界線までの水平距離（m） |  |  |
| 添付書類　ばい煙処理施設、揮発性有機化合物の処理施設（ばい煙等の処理等を行う施設）（煙突、フード、ダクトを含む。）の構造概要図（主要寸法及び測定箇所を記入すること。） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 排出口の中心からその至近距離にある他人の所有する建築物（倉庫等は除く。）の実高さh（m）及び水平距離d（m） | hd | hd |
| ばい煙測定口の有無及び口径 | 有（口径　　　mm）　・　無 | 有（口径　　　mm）　・　無 |

備考１　設置届出の場合には着手年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記載すること。

２　ばい煙の濃度は乾きガス中の濃度とすること。

３　補正された排出口の高さHeは、大気汚染防止法施行規則第３条第２項の算式により算定すること。

４　参考事項として、処理効率に係る設計上の基本的事項に関する資料を添付すること。

５　＊印の欄について、左欄にはメーカーの設計値（メーカー保証値、測定値等）を記載すること。右欄には標準酸素濃度に換算した値を記載すること。